



## 需要と生産コントロール

令和6年11月16日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

需要への製品提供は、生産コントロールと適正価格における生産販売を提案できるものである。これらは大量生産と消費という現実に対して、生産コントロールと適正価格の制定における企業経営と利益の構築を提案するものである。

これらは固定需要が存在し、過剰生産や在庫の付加などに対して、ゼロエミッションという新しい企業基準とともに、その生産の適正化を実現するものである。

これらは新たな流通や、販売環境への転換を再度実現するものであり、これらコントロールはより優れた企業経営体制への転換を提示できると考える。

これらが適正利益の構築を明確に経営判断において実現することができるためである。

これらは需要のコントロールを企業が実現することであり、企業経営のより優れた確定性を確立できるのである。

これらは価格と生産コントロールにおける需要の創造であるのである。これら新しい企業経営は、市場変化への正しい対応を実現できるのである。

これらは企業経営が漠然と市場変化に迎合することから、より主体的に現実の確立を行うことへの転換である。

これら新たなコントロールは、IT システムにおける企業の統括とともに、企業システムの確立と経営への転換を提案するものである。

これらは、企業経営のデータをより詳細に求め、ビッグデータにおける市場分析とともに、新たな企業経営体制の確立を提案するものである。

これら新規企業システムにおける経営は、企業のより正確なコントロールと経営判断の実現を確立するものである。